

復興庁主催

【6月6日開催】

## 東日本大震災 5周年 復興フォーラム ～新たなステージ 復興・創生へ～



復興庁主催による『東日本大震災5周年復興フォーラム』が東京都内で開催され、第二部のパネル・ディスカッションに本会の木村恵司震災復興委員会委員長(三菱地所取締役会長)が登壇した。

パネル・ディスカッションは、「新たなステージ 復興・創生へ～『民』から見た教訓と今後の課題～」をテーマに、伊藤元重学習院大学教授がファシリテーターとなり、木村委員長のほか、今村文彦東北大学災害科学国際研究所所長、田村太郎ダイバーシティ研究所代表理事、引地恵WATALIS代表取締役、タレントのダニエル・カール氏が出席した。

木村委員長は、「民間企業による復興支援で特徴的なことは、金銭・物資だけでなく、社員の派遣・出向による人的支援や、本業を通じた協業による支援、被災地の人材育成が継続的に行われている点である」と語り、本会の取り組みについては「5年間にわたる寄附金活動IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」「被災三県の人材育成を支援する東北未来創造イニシアティブへの協力」「首都圏大手



企業が宮城県女川町の企業社員や町職員に研修を行う人材交流事業(女川町NPO協力)」を紹介した。

震災復興支援については、「できるかぎり本業にリンクした形で支援を行うこと、自治体・NPO・企業が連携して行うこと、民間企業がすることは民間企業に任せること」が重要であるとし、「日本は、少子・高齢化、人口減少などの課題を抱えている。復興支援はこうした課題の克服につながる。今後も人材、本業とのリンクをキーワードに継続して取り組んでいきたい」と述べた。